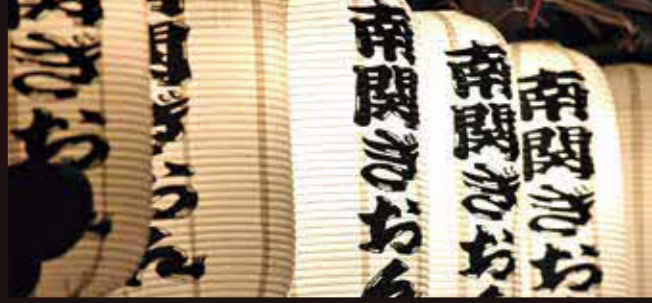


人々の熱い思いとともに
引き継がれてきた夏の伝
統行事「なんかんぎおんさ
ん」。縦横無尽に頭を振り
火花を散らす大迫力の大
蛇山が、今年も関町商店街
を熱く盛り上げました。



なんかん ぎおんさん

無病息災などを願う行われる「なんかんぎおんさん」は、大蛇の山車が昼夜2回、関町商店街帯を巡行。火煙を吐き、鐘や太鼓を打ち鳴らしながら「サツサー」という掛け声とともに、商店街を練り歩きます。子どもを大蛇に噛ませると健康にすくすく育つとされる「かませ」には、待ちわびた人で長蛇の列ができ、大きな大蛇の口に入った子どもたちの元気な泣き声が、真夏の空に響き渡りました。

お祭り広場会場に設置されたステージでは、松風音楽村のバンド演奏や肥後琵琶、ものまねショーなども披露され、観客はグルメリヤ音楽を堪能しながらお祭りを楽しみました。

